

令和 7 年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

		提出日	R7.6.23			
		課名	にぎわい創出課			
		グループ名	地域振興グループ			
		記入者名				
1 事業概要		(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業	
(1)事業名 小川和紙産業支援事業費		(4)第5次総合振興計画での位置づけ				
(5)予算・財源等の別		(6)実施根拠				
(1)基本目標 活力ある産業のまち(産業の振興)		(1)会計区分 一般会計				
(2)大項目 工業		(2)財源区分 町単独				
(3)中項目 伝統産業の振興		(3)予算科目 款 7 項 1 目 2				
(4)施策		(4)予算事業名 小川和紙産業支援事業費				
(5)施策コード 6.3.3.0		掲載ページ	103	ページ		
(6)実施根拠		(7)総合戦略				
(1)事務分類(自治・法定受託) 自治事務		(1)総合戦略 小川和紙産業支援事業費				
(2)根拠法令・条例等		(該当事業名)				
(3)事業期間 開始 平成28年 6月から		終了	未定	年	月まで	
2 事業の目的・内容等						
(1)目的(何のために行うか)		(2)内容(どのような取り組みか)				
生業としての和紙産業を安定させ、地元の雇用を創出し、併せて地域活性化を進めるため。		<ul style="list-style-type: none"> ・後継者育成事業(H28.10～)を1期3か年で実施する。令和5年度からの3か年は東秩父村と合同で実施する。 ・楮畠の管理と楮の原料処理を行う。 ・作業場である和紙体験学習センターを維持管理する。 				
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)		(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)				
後継者育成研修生(3人)、楮生産従業員(5人)、和紙職人(23人)。サービス量は小川町和紙体験学習センターで直接業務を行っている研修生・楮生産従業員で算出。		<ul style="list-style-type: none"> ・和紙職人を増加させ、和紙産業を発展させる。 ・地楮の安定供給を実現させ、地楮をプランディングして地域活性化を進める。 ・和紙体験学習センターを拠点化する。 				
対象数	和紙職人等	単位	人			
(5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)						
後継者研修を受けてみたいという問合せや、楮を購入したいという要望などが多く聞かれる。技術者も高齢化しており、引き続き後継者育成の必要がある。また、楮の産地である栃木県や高知県などにおいても、近年、業者の高齢化の影響もあり減産していることから、国産楮の入荷の減少が想定され、地元産楮の生産の必要性が高まっている。						
(6)SDGsへの貢献						
  						
3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)						
(1)事業(内容)名称		小川和紙産業支援事業費				
項目	決算・予算年度	R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)当初予算
(2)事業費	決算・予算年度	0	0	0	0	4,324
報酬費	576	576	914	896	1,230	
需用費	19	13	30	0	55	
役務費	213	220	135	25	44	
委託料	2,700	2,500	2,500	0	0	
その他	195	188	196	1,290	1,184	
内訳	直接事業費合計	3,703	3,497	3,775	2,211	6,837
(3)財源	国庫支出金	0	0	0	0	
内訳	県支出身	0	0	0	0	
財源	地方債	0	0	0	0	
内訳	その他特定財源	0	0	623	623	1,050
一般財源	3,703	3,497	3,152	1,588	5,787	
内訳	合計	3,703	3,497	3,775	2,211	6,837
(4)補助金名						
(5)人件費						
投入職員数	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
年間人件費	3,814	3,771	3,761	3,886	4,016	
(6)総事業費	7,517	7,268	7,536	6,097	10,853	
サービス量(人)	12	11	9	10	8	
サービス単価	626.4	660.7	837.3	609.7	1356.6	
(単位)	千円/後継者、楮生産者、和紙職人1人当たり					

4 指標の検証		小川和紙産業支援事業費			
指標名		単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算
(1)活動指標(実施した事業の量)					
指標名	後継者研修回数	目標値	回	48	48
		実績値	回	48	48
		達成率	%	100.0	100.0
指標名	地楮収穫量(黒皮楮)	目標値	kg	300	330
		実績値	kg	434	527
		達成率	%	144.7	159.7
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)					
指標名	工業事業所数(総振目標指標P103) R7年度目標値 90件	目標値	件	90	90
		実績値	件	85	85
		達成率	%	94.4	94.4
指標名	手漉き和紙職人人数	目標値	人	26	26
		実績値	人	25	23
		達成率	%	96.2	88.5
(3)その他指標に現れない成果					

5 事業評価					
(1)項目別評価					
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他()
公平性	受益者の偏り	2	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他(廃業・離職により職員数が減少)
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()

(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)

後継者育成事業では3人の研修生を新規に受入れ、技術者の育成を図っている。今後は、修了者が生業につなげられるような対策が必要となる。また、楮生産従事者も年々栽培技術を向上させ、原料にするための楮の加工(カズヒキ)の効率も上がってきている。職人が使う楮の安定供給はもとより、細川紙の継承の視点からも継続的に実施し、生産量を増やしていく必要がある。

6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合
評価主体	評価	評価についての説明
(1)一次評価 (担当課長)		
(2)二次評価 (政策推進課長)		
(3)最終評価 (町長)	2 現状維持	和紙産業の振興に向けて、後継者の育成等に継続して取り組む。